



静岡県環境整備事業協同組合 2018 世界トイレの日事業

『第5回 災害時のトイレ・し尿処理研修会』

テーマ：関係者の備えと連携

＜開催要領＞

内 容	最近の災害時の状況から、トイレ対策における関係者の備えと連携の重要性を学び、安心できるトイレ環境を準備する
日 時	平成30年11月19日（月曜日）受付開始12時30分 研修会 13時30分～16時45分
場 所	静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」 11F 会議ホール風（定員400名） 〒422-8019 静岡市駿河区東静岡二丁目3番1号 ☎ 054-203-5710
主 催	静岡県環境整備事業協同組合 〒420-0044 静岡市葵区西門町3番8号 ダイセイヨウビル402号室 TEL：054-251-8776 FAX：054-251-8801 E-mail： seikankyou@mtg.biglobe.ne.jp
後援（予定）	静岡県 静岡県市長会 静岡県町村会 全国環境整備事業協同組合連合会
協 力	特定非営利活動法人日本トイレ研究所 〒105-0004 東京都港区新橋5-5-1 IMCビル新橋9F TEL：03-6809-1308 FAX：03-6809-1412 URL http://www.toilet.or.jp
参加予定者	静岡県及び県内35市町のし尿処理・下水処理・防災の行政担当者様 静岡県及び県内35市町の議会議員様、自主防災組織の関係者様 し尿収集運搬等の業界関係者
参 加 費	無 料

『第5回 災害時のトイレ・し尿処理研修会』

テーマ：関係者の備えと連携

＜開催趣旨＞

◎被災地のトイレ環境は命に関わる問題

未だ、世界人口の3分の1以上にあたる25億人がトイレを使えず、劣悪な衛生状態により多くの人命が失われていることから、国連では、トイレ環境の向上とし尿の衛生的な処理のため、2013年7月の国連総会で11月19日を「世界トイレの日」と定めた。

日本には世界の人々が羨むほどのトイレ環境やし尿処理システムが整備されており、日常生活では快適にトイレを使うことができる。しかし、大地震等の大規模災害時においては、下水インフラの被害により長期にわたり水洗トイレが使えない状況が被災者の生活に重大な影響を及ぼした。被災地でのトイレ不足や不衛生なトイレ環境は、被災者の健康を害し、命に関わる問題となっている。

◎毎年『災害時のトイレ・し尿処理研修会』を開催

当組合は、過去、阪神淡路大震災においては、静岡県の支援要請を受け、仮設トイレを用意してバキューム車と人員を神戸市に派遣、12日間にわたり延べ272人が現地支援を行った。東日本大震災においては、バキューム車2台を岩手県に提供し支援した。平成17年に県と「災害時におけるし尿等の収集運搬に係る協定書」を締結し、災害時の支援体制の整備を進めている。

平成26年からは、11月19日の世界トイレの日に合わせ、静岡県内の県・市町から行政担当者・議会議員またし尿収集運搬業者・浄化槽清掃業者などの出席を得て『災害時のトイレ・し尿処理研修会』を毎年開催している。昨年は、「自宅避難時の災害用トイレと浄化槽の活用」をテーマに、被災時の便袋の活用や災害に強い浄化槽について学んだ。

◎内閣府のガイドライン等の整備進む

平成28年4月、内閣府は、大規模災害時のトイレの劣悪な環境を改善するため、「避難所におけるトイレの確保・管理ガイドライン」を策定した。また、静岡県では、市町や自主防災組織の避難所運営の向上を目指し、本年3月に「避難所運営マニュアル」の改定が行われた。

災害時に被災者のトイレ対策を直接担う市町や自主防災組織等では、内閣府のガイドラインや県の避難所運営マニュアルを基に、災害時のトイレ対策を進めることが重要となる。

◎熊本地震でのトイレ・し尿処理状況や他県の快適トイレ計画の取組み等について学ぶ

本研修会は、平成28年4月に発生した熊本地震におけるトイレ事情とし尿処理の状況、徳島県が平成29年3月に策定した「徳島県災害時快適トイレ計画」での災害時の快適なトイレ環境を目指した取組みなどを通して、災害時のトイレ・し尿処理における関係者の備えと連携の重要性について学び、安心できるトイレ環境の準備を進め、し尿の適正処理を図ることにより、大規模災害時における生活環境の保全や公衆衛生の向上に資する研修会とする。

『第5回 災害時のトイレ・し尿処理研修会』

< プログラム >

開 会 13:30

主催者挨拶

来賓挨拶 静岡県くらし・環境部長 鈴木 亨 様

全国環境整備事業協同組合連合会会長 玉川 福和 様

講演 I 13:45~14:45

演 題 災害時のトイレとし尿処理 —熊本地震と東日本大震災の比較—

講 師 大正大学人間学部人間環境学科 准教授 岡山 朋子 様

<休憩 10 分>

講演 II 14:55:~15:55

演 題 徳島県災害時快適トイレ計画の取組みについて

講 師 徳島県危機管理部とくしまゼロ作戦課 課長補佐 谷 寛文 様

<休憩 10 分>

講演 III 16:05~16:40

演 題 災害時のトイレ対策と関係者連携

講 師 特定非営利活動法人日本トイレ研究所 代表理事 加藤 篤 様

閉 会 16:45

『第5回 災害時のトイレ・し尿処理研修会』

＜講師紹介＞

大正大学 人間学部 人間環境学科 準教授 岡山 朋子 様

プロフィール

- ・静岡県蒲原町（現・静岡市）出身。
- ・名古屋大学法学部、名古屋大学大学院国際開発研究科、名古屋大学大学院環境学研究科を修了。
- ・博士（環境学）。
- ・NPO中部リサイクル運動市民の会スタッフ、名古屋大学エコトピア科学研究所特任講師などを経て、現在、大正大学人間学部人間環境学科准教授。
- ・専門は廃棄物管理、循環型社会政策、特に災害時トイレ研究、食品ロス削減研究など。その他、再生可能エネルギー政策研究として、バイオガス発電やピコ水力発電研究も行っている。
- ・環境省大規模災害時廃棄物対策関東ブロック協議会委員、千葉県環境影響評価委員会委員、豊島区環境審議会委員など。



徳島県危機管理部 とくしまゼロ作戦課

災害医療・民間連携担当 課長補佐 谷 寛文 様

プロフィール

平成3年4月 徳島県入庁

平成8年4月 徳島県消防防災安全課に配属

（）防災担当職員として中央構造線断層帯（讃岐山脈

平成11年3月 南縁）調査などに従事

平成27年4月 徳島県危機管理部とくしまゼロ作戦課に配属

徳島県南海トラフ・活断層地震対策行動計画や

徳島県国土強靭化地域計画などに従事

同課にて「徳島県災害時快適トイレ計画」及び

「アクションプラン」を担当



特定非営利活動法人日本トイレ研究所 代表理事 加藤 篤 様

プロフィール

まちづくりのシンクタンクを経て、現在、特定非営利活動法人日本トイレ研究所代表理事。災害時のトイレ調査や防災トイレワークショップの実施、防災トイレ計画の作成、小学校のトイレ空間改善を展開。「災害時トイレ衛生管理講習会」を開催し、防災トイレアドバイザーの育成に取り組んでいる。内閣府「避難所の確保と質の向上に関する検討会 質の向上ワーキンググループ委員」。『四快の進め（共著）』（新曜社）、『元気のしるし朝うんち（共著）』（少年写真新聞社）、『水の知（共著）』（化学同人）等。

